

J R 四 国 労 組 ニ ュ ー ス

2023年11月17日（No.13） 発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

第19回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」 JR四国と公共交通のこれからについて政・労・使が意見交換！



J R 四 国 労 組 は、1 1 月 1 5 日（水）に参議院議員会館内会議室において、第 1 9 回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」を開催した。本連絡会には、加入する国会議員、J R 連 合・J R 四 国 労 組 役 員 並 び に 会 社 幹 部 ら 総 勢 1 9 名 が 出 席。

冒頭、小川淳也議員を会長に、玉木雄一郎議員を事務局長に再任するとともに、10月の参議院議員補欠選挙で当選した広田一議員の加入も確認し、議事に入った。小川会長から「J R 四 国 について関係者で広く意見交換できる貴重な機会。鉄道を軸としつつ、公共交通をどう維持するかは重要な課題であり、引き続き連携を取りながら解決していきたい」と挨拶を受けた後、主催者を代表してJ R 四 国 労 組 大 谷 執 行 委 員 長 が「人口減少等も含め不安要素は多い。公共交通の課題解決に向け、労使協調して取り組んでいるが、皆様のお力添えもいただきながら公共交通を支えていきたい」と述べた。西牧社長からは「輸送量の回復状況は8割程度。2025年度以降の支援措置もそうだが、2030年度以降に夢のある絵姿をどう描くかも見据えつつ、経営自立に向けて取り組んでいく」と挨拶があった。

その後、J R 連 合 より 政 策 課 題 解 決 に 向 け た 取 り 組 み、J R 四 国 の 現 況 と 経 営 課 題 に つ い て 説 明 が な さ れ た の ち、「人材の確保に向けた取り組み」「自治体と連携した取り組み」「非鉄道事業の展望」に関して意見交換を行った。

第19回J R 四 国 労 組「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」役員

役職	氏名等
会長	小川 淳也（衆議院 香川1区）
事務局長	玉木 雄一郎（衆議院 香川2区）
幹事	白石 洋一（衆議院 愛媛3区）
幹事	広田 一（参議院 徳島・高知）
幹事	永江 孝子（参議院 愛媛）

以上